



令和8年9月18日

内閣府

科学技術・イノベーション推進事務局

グローバル・スタートアップ・キャンパス構想 フラッグシップ拠点整備基本設計等業務の公示について

「グローバル・スタートアップ・キャンパス構想フラッグシップ拠点整備基本設計等業務」につきまして、本日、以下のとおり手続き開始の公示を行いましたのでお知らせします。

施設名称 グローバル・スタートアップ・キャンパス構想
フラッグシップ拠点（仮称）

施設用途 研究・インキュベーション施設

施設規模 延べ面積 32,800㎡以下
※計画地を活用した全体的な拠点の構想（マスタープランや段階整備に関する計画）を作成した上で、一刻も早く活動を行うために必要となる上限を32,800㎡とする施設について、基本設計図書の作成を行う。

履行期間 契約締結の翌日から令和9年12月28日（火）
※ただし、調査職員と協議の上契約後に履行期間延長を行うことがある。

業務概要

- 1) 一般業務（基本設計に関する標準業務）
- 2) デザインに関する業務（追加業務）
- 3) マスタープラン及び段階整備計画策定に関する業務（追加業務）
- 4) 運営に関する業務（追加業務）

業務の特徴

世界最高水準のイノベーションエコシステムのハブの実現を目指し、以下の条件等を満たすことが可能な単体又は設計共同体により基本設計を実施

- ・ 国内外の研究・インキュベーション施設の運営経験やノウハウ、実績を有する企業の参画
- ・ 建築デザイン等において優れた実績（表彰の受賞歴）を有する者をデザイン担当として配置

技術提案を求めるテーマ

- 1) ディープテック分野のあらゆるニーズに対応できる利便性や快適性を備え、様々な才能が集える多様性と包摂性（インクルージョン）を体現した施設を実現するにあたり、考慮すべき事項
- 2) 様々な人々の出会いや交流を促進し、創造性を誘発する施設を実現するにあたり、考慮すべき事項
- 3) 常に最先端であり続ける柔軟性（フレキシビリティ）と成長・発展性を備えるとともに、AI駆動型研究に対応し、リアルとバーチャルでアクセス可能な施設を実現するにあたり、考慮すべき事項
- 4) 周辺との調和、サステナビリティや環境に配慮した施設を実現するにあたり、考慮すべき事項
- 5) 本施設の持続的な運営を実現するにあたり、考慮すべき事項

今後の予定

- ・ 令和8年9月18日(金) 手続き開始の公示・資料配布開始
- ・ 令和8年11月4日(水) 参加表明書の提出期限
- ・ 令和9年1月21日(木) 技術提案書の提出期限
- ・ 令和9年3月頃 契約締結

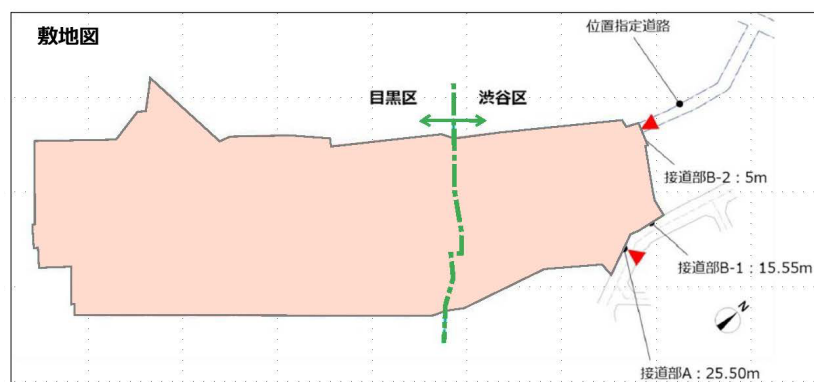
【GSC 構想フラッグシップ拠点整備 調達情報 URL】

https://www8.cao.go.jp/cstp/campus/gsc_flagship_panel/info.html

本事業計画地の敷地周辺図



本事業計画地の敷地図



項目	概要
所在地	東京都目黒区中目黒2-16-3外、東京都渋谷区恵比寿南3-48-1外
敷地面積	26,088.98㎡（想定）
用途地域	目黒区側：第2種中高層住居専用地域 / 渋谷区側：第1種住居地域
建蔽率	60%
容積率	目黒区側：200% / 渋谷区側：300% ⇒加重平均227% 敷地面積 × 容積率（加重平均）=59,339.38㎡（想定）
防火指定	準防火地域
日影規制	目黒区側：3h2h / 渋谷区側：5h3h
斜線制限	目黒区側：道路斜線、隣地斜線、北側斜線 / 渋谷区側：道路斜線、隣地斜線
高度地区	目黒区側：第1種高度地区（最高限度高17m） / 渋谷区側：第3種高度地区（最高限度高30m）
周辺道路	東側：幅員9.20m / 北側：幅員5～6.5m